市政レポート
彦坂 和子
尾関 宗夫
渡邊 智史

日本共産党一宮市議団の活動をお知らせします。

シャットル

[発行] 日本共産党一宮市委員会 http://www.asahi-net.or.jp/~XS8M-Itkr/

2019年 12月
No. 710
日本共産党 一宮市委員会
TEL 45-5424 Fax 45-5347
一宮市八幡2-13-30

12 月議会始まる　12/3～12/24
一般質問通告者は 23 名！

日本共産党一宮市議会の通告内容は以下の通りです。

彦坂和子議員

12 月 12 日(木)午後 2 時頃～　4番目

１、 加齢性難聴者に補聴器購入の補助を

＊年を重ねることで聴こえづらくなることで、人との会話に消極的になり、認知症につながるとの指摘があります。

２、子どものインフルエンザ予防接種に補助を

＊65 歳以上の高齢者には補助があり、子どもにも補助をする自治体が増えています。

３、中核市移行について

＊市制施行 100 周年・2021 年 4 月を目標に、市が準備を進めている中核市移行について、市民の疑問・声を届けます。

傍聴は自由にできます。　傍聴におでかけください。

＊市役所 14 階で傍聴できます。定員は一般席 60 人、身体障害者席 11 人です。市役所 14 階傍聴ロビー、尾西庁舎・木曽川庁舎モニターテレビでも視聴できます。

＊家庭でも生中継を見ることができます。(市ウェブサイト、ケーブルテレビ)

12 月議会の日程

開　　会	12 月 3 日（火）
一般質問	9 日（月）、10 日（火）、11 日（水）、12 日（木）
常任委員会	総務委員会 13 日（金）、福祉健康委員会 16 日（月） 経済教育 17 日（火）、　建設水道委員会 18 日（水）
閉　　会	24 日（火）

	期数	会派	6月	9月	12月
浅井　俊彦	7	令和会			
市川　智明	1	公明党	○	○	◎
伊藤　裕通	5	自民党		○	○
井上　文男	3	令和会	○	○	◎
鵜飼　和司	2	真風会	○		○
宇山　祥子	1	立民一宮	○	○	◎
太田　文人	6	真風会			
大津　乃里予	1	真風会	○	○	
岡本　将嗣	4	令和会	○	○	◎
尾関　哲	1	愛西会	○		○
河村　弘保	2	公明党	○	○	◎
木村　健太	1	真風会		○	
京極　扶美子	5	真風会			
後藤　美由紀	1	維新	○	○	◎
小林　けいめい	1	新緑風会	○	○	◎
柴田　雄二	4	公明党	○	○	◎
島津　秀典	2	令和会	○		○
髙木　宏昌	4	真風会		○	
髙橋　一	2	新緑風会	○	○	◎
竹山　聡	4	令和会	○	○	◎
東渕　正人	1	令和会			
中村　かずひと	2	新緑風会	○	○	◎
西脇　保廣	5	新緑風会	○		○
則竹　安郎	3	令和会	○		
長谷川　八十	2	令和会			
服部　修寛	6	一宮市民クラブ			
花谷　昌章	5	令和会			
彦坂　和子	3	日本共産党	○	○	◎
平松　邦江	4	公明党	○	○	◎
松井　哲朗	7	真風会			
水谷　千恵子	3	公明党	○	○	◎
本山　廣次	1	令和会		○	○
森　利明	4	愛西会		○	
森　ひとみ	2	真風会	○		○
八木　丈之	4	令和会	○	○	◎
横井　忠史	5	令和会			
渡辺　之良	5	令和会			
渡部　晃久	2	令和会	○	○	◎
			23 名	22 名	23 名

来週のシャットルはお休みさせていただきます。ご了承ください。

「桜を見る会」とその前夜祭の問題は、税金を使った公職選挙法違反、買収などに関わる犯罪の可能性もある問題であり、反社会勢力との繋がりなども指摘されている重大な問題です。野党一丸となって追求していきます。

一問一答の集中審議を
小池書記局長、逃げの答弁を批判

日本共産党の小池晃書記局長は２日、国会内で記者会見し、同日の参院本会議で「桜を見る会」をめぐり、事実を突き付けて全面的にただした田村智子議員の質問に対する安倍晋三首相の答弁について「今までと同じフレーズを繰り返して逃げ回る、ひどい答弁だった。一国の総理として情けない」と批判し、さらなる追及のために予算委員会での集中審議が必要だと強調しました。

（写真）記者会見する小池晃書記局長＝２日、国会内

小池氏は首相答弁について、マルチ商法大手のジャパンライフや反社会的勢力がなぜ招待されていたのかをめぐっては「個人情報なので回答は差し控える」、招待者名簿をなぜ廃棄したのかは「内閣府が遅滞なく廃棄する取り扱いだ」などと、何を聞いてもワンパターンの答えしか返ってこないと批判。質問と答弁のやりとりが１回だけの本会議質問にとどまらず、一問一答を重ねられる予算委員会での集中審議でさらなる追及が必要だと力を込め、「予算委員会に出席して説明できないのであれば、首相の資格はなく、総辞職すべきだ」と述べました。

小池氏は、「ジャパンライフの山口隆祥会長（当時）への招待状が同社の宣伝に使われ、約７０００人、約２０００億円の深刻な被害を与えることに『桜を見る会』が利用されたという極めて看過できない事実が浮上している」と強調。公的行事を私物化して後援会員を大量に招待した事実上の買収行為という問題とともに、「野党の追及本部で取り組みを強め、引き続き徹底追及する」と表明しました。

繰り返さない為、事実に目を向けよう　part4

９月に訪韓し、日韓の歴史に触れました（全４日間）。報告と感想を不定期連載の形で報告します。今回は２日目の午後のグリーン病院との交流、３日目午前の戦争記念館について報告します。

グリーン病院は、韓国の患者さん第一の病院です。「院長室は地下で、見晴らしの良い７階をリハビリの患者さんたちに使ってもらう」ところなどに患者さん第一の在り方が表れています。元々、労働者のための病院を作ろうとできた歴史があります。

病院の職員と交流では、韓国の医療事情について知り、日本より厳しい患者負担がある中、地域の健康づくりや、経済的事由での受診困難にも基金などで対応する等、素晴らしい取り組みが行われています。政権が変わり、保険診療中心の病院に手厚い施策となり経営が好転したとのこと。政治が医療に与える影響が大きいと感じました。

戦争記念館のモニュメントの一つ。少年が勇ましいしぐさを取っている。

戦争記念館は靖国神社と同じ思想です。英霊を祀り、軍事的な安全保障を翼賛する記念館であるということです。

日本の施設でも同じことが言えますが、事実がどうであったかは資料として示されています。それをどう表現するかという違いがあることを改めて感じました。また、韓国の加害の歴史にも触れている点は日本の施設とは少し異なっています。

朝鮮戦争は、各軍の支配地域が目まぐるしく変わる戦争であり、そういう状況の中での市民の暮らし、強要され敵軍へ協力した市民の扱いなど触れられてはいないものの、大変な状況であったことが想像できます。

韓国側の視点で軍事的に安全保障を維持することが大切で、北朝鮮に味方するのは敵という展示の意図を感じ、展示・教育の方向が「思想」や「どちらに味方する」などの分断を生んでいるのではないかと感じました。

戦争記念館の戦没者を記載した碑

党市民運動部長
わたなべ　さとし